

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	伝統人形芝居への補助(黒田人形芝居・今田人形芝居)	会計	一般会計	事業No.	762	施策順No.	63-003
		事業種別	政策・重点	予算科目	10-5-3-10-3		
政策	6 地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり			課等名	生涯学習・スポーツ課		
施策	63 地域資産の保存継承	事業期間	開始	1	終了		

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	黒田人形芝居・今田人形芝居						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		保存会の座員数(人)	46	46	44	46	50	
	意図	技術向上および後継者育成を図る						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	研修会および振興のための事業数(回)	353	351	345	350	425	350	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	黒田人形芝居では新たに壮年会の新たな参加があり、伝承活動のひろがりが見られた。また今田人形芝居では竜峡中学校・龍江小学校・三徳小学校・伊豆木人形クラブへの活動支援等、幅広い活動が行われた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	指定文化財の保護のために行う事業。指定文化財の保護事業のうち、飯田市文化財保護条例の規定による指定文化財の保護のために行う事業について、飯田市文化財保護事業補助金交付要綱に基づき補助する事業である。継続事業として、黒田人形保存会および今田人形座に対し、技術向上および後継者育成を図る目的で行われる伝統人形浄瑠璃(市指定無形文化財)保存伝承活動について、補助金を交付する。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 伝統人形浄瑠璃継承のための活動支援及び後継者育成への支援 (1)黒田人形芝居 (2)今田人形芝居 2 補助金の交付 (1)黒田人形芝居 (2)今田人形芝居	1 公演等活動回数 (1)黒田人形芝居 (2)今田人形芝居 2 補助金額 (1)黒田人形芝居 (2)今田人形芝居	1 (1) 166回 (2) 259回 2 (1) 560千円 (2) 560千円
23年度実施計画	1 伝統人形浄瑠璃継承のための活動支援及び後継者育成への支援 (1)黒田人形芝居 (2)今田人形芝居 2 補助金の交付 (1)黒田人形芝居 (2)今田人形芝居	1 公演等活動回数 (1)黒田人形芝居 (2)今田人形芝居 2 補助金額 (1)黒田人形芝居 (2)今田人形芝居	1 (1) 150回 (2) 200回 2 (1) 560千円 (2) 560千円

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)			特定財源内訳、補足事項
		22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	
	国庫支出金				
	県支出金				
	起債				
	その他				
	一般財源	1,120	1,120	1,120	
	計(A)	1,120	1,120	1,120	
	正規職員所要時間		50		
	臨時職員等所要時間				
	人件費計(B)		179		
	トータルコスト A+B		1,299		

4 事業に対する市民や議会の意見

地元に残る伝統人形浄瑠璃は、地元が中心になって保存会を組織し積極的に保存伝承活動を展開しているが、その活動費の助成を求められている。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	地域資産が保存・継承される	施策の成果指標又はムトス指標	保存・継承されている地域資産の数(累計)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	地域にある文化遺産の大切さが理解され、伝統人形浄瑠璃の後継者が育成されて民俗芸能が伝承され、地域資産が保存・継承された。また、こうした住民全体の取り組みにより文化財の存在価値が上がり、全国に誇れる資産として情報発信された。		
	後期に向けた課題	特になし。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	定期的な監査の際に、より効果的に支援ができるよう保存団体との意見交換を行っている。		
	後期に向けた課題	小・中学生の活動を強化する		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	市文化財保護事業補助金交付要項に基づき交付を行うもので、コストの削減は困難である。		
	後期に向けた課題	特になし。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	市指定無形文化財であり、市民の共有財産としての文化財の保護・伝承については市が関与すべきものである。市文化財保護事業補助金交付要項に基づいており関与の程度は適切である。		
	後期に向けた課題	特になし。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	①主体は黒田人形保存会・今田人形座を組織し保存継承に取り組んでいる地域であり、伝承及び保護のための定例練習や公演、技術向上のための研修会参加、後継者育成のための小・中学校クラブ等への指導、及び人形修復を行っている。 ②市は補助金交付要項に基づき支援を行い活動の継続を図るとともに、情報発信に取り組んでいる。		
	後期に向けた課題	小・中学生の活動を将来の後継者育成につなげるシステムづくりが必要である。		
全体を通じて	4年間の振り返り	後継者育成が進み、市内で途絶した他の人形浄瑠璃を復興しようという動きに対して支援する取り組みが始まった。また、今田人形座ではアメリカのミズーリ大学生への講習実施が行われる等、国際交流の分野でも進展があり、他施策への波及効果があった。		
	後期に向けた課題	小・中学生の活動は盛んになっているが、高校卒業と同時に飯田を離れ戻ってこない現実がある。地育力を高めると同時に、将来の後継者育成につなげるシステムづくりを検討する必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ある	対象や意図を修正する必要はありますか	ある	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ある
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	--	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------